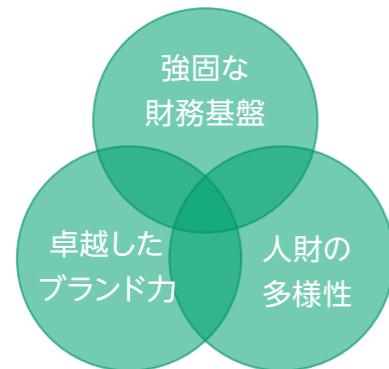


バリューチェーン

JTグループでは、お客様の期待を超える製品・サービスの提供を目指し、各事業がそれぞれの強みを発揮しながら、バリューチェーンの各ステージにおける付加価値の向上に努めています。

グローバル成長を 可能とする3つの強み



たばこ事業



- 8つのR&Dセンターにおいて、基礎研究や新規技術および製品の開発を実施
- お客様*1ニーズに沿った研究開発の実施
- 1,962件に及ぶ知的財産権の保有や、90件を超える外部パートナーとのイノベーションに関する協業

- 葉たばこ農家および葉たばこディーラーとの協業により調達基盤を最適化し、安定的に葉たばこを調達
- 天候や市況の変動に柔軟に対応できる安定した葉たばこの調達
- 法令を遵守した葉たばこの生産と品質の保証

- RRP製造工場(6拠点)を含む38工場からなる生産体制を構築
- 最新鋭の製造設備と製造工程の導入
- 業界トップクラスの高度な品質基準を担保

- Winston、Camel、MEVIUS、LDを中心とする力強いブランドエクイティ
- お客様*1視点に基づく、高品質かつ多様な製品の提供
- 事業展開している国および地域の法令遵守の徹底

- 130以上の国と地域において製品を販売
- 各国の市場の状況および動向に合わせた営業施策の展開
- 営業体制をさらに強化し、販売店と強固な関係を構築

医薬事業



- 画期的なオリジナル新薬の創出

- 高品質な医薬品を安定的に製造する体制の確立

- 責任ある販売情報提供活動の推進

加工食品事業



- 独自の酵母技術や加工・冷凍技術
- お客様ニーズや嗜好に合わせた商品の開発力

- 高品質で、安定的かつコスト競争力ある原材料調達(充実した調達網および検査体制)

- 食の安全管理を基盤として、高品質な食品を安定的かつ効率的に製造する管理体制

- シェアNo. 1*2を誇る製品ブランド(「さぬきうどん」「ごっつ旨い」)
- お客様とのコミュニケーション基盤を通じた市場洞察力(ファンサイト等により、多様化するお客様ニーズや嗜好を発掘)

- 豊富なラインナップによりお客様のニーズにあった商品を提案できる営業力

*1 喫煙可能な成人のお客様を意味します。なお、喫煙可能年齢は、各国の法令により異なります。日本では20歳未満の方による喫煙は、法律で禁じられています

*2 富士経済「2023年食品マーケティング便覧」冷凍うどん、冷凍お好み焼きカテゴリ 2021年実績

バリューチェーン

JTグループの各事業は、お客様に提供する価値の向上に向け、バリューチェーンにおける強みをさらに発揮するための取り組みも行っています。

| | | 研究開発 | 調達 | 製造 | マーケティング | 流通・販売 |
|--------|-----------|--|---|---|---|--|
| たばこ事業 | 強みの維持・強化策 | <ul style="list-style-type: none"> さらなる成果を発揮することを目的として、各拠点ごとで実施していた研究開発体制からグローバル一体での研究開発体制へ移行 研究開発の基礎となるお客様*ニーズの把握と分析の共有を強化 知的財産戦略に基づいたイノベーションの保護 | <ul style="list-style-type: none"> バランスの取れたリスク軽減施策および調達先の分散を継続 安定的な製造を支える調達計画と在庫管理の実施 社会や環境に与える影響を考慮した取り組みを実施 | <ul style="list-style-type: none"> 各国への効率的な製品供給を可能とする継続的な生産体制の見直しと最適化 継続的な設備投資によるRRPの生産能力を拡大 すべての製造プロセスに改善アプローチを浸透 | <ul style="list-style-type: none"> GFB (Global Flagship Brands) のブランドエクイティに対する投資と、Ploomブランドの確立に向けた投資の継続 組織全体へのコンシューマー・セントリックの考え方のさらなる浸透 JTグループ行動規範の遵守を徹底 | <ul style="list-style-type: none"> 収益性を踏まえて新たな市場や販売チャネルへの参入機会を定期的に検討 事業環境に応じた流通網のさらなる効率化・最適化 主要な販売店との強固な関係を継続的に構築 |
| | 課題と対応 | <ul style="list-style-type: none"> 技術革新が加速しているRRP (市場環境に対応し、新たなRRP製品開発および既存製品の機能強化をさらに推進 | <ul style="list-style-type: none"> JTグループのRRPビジネスが成長することを見据え、さまざまな事業環境の変化に対応可能なRRPデバイス調達戦略を策定 | <ul style="list-style-type: none"> 事業活動に伴う環境への負荷の軽減をさらに追求し、世界的気候変動対策の枠組みを定めたパリ協定に貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ケイパビリティを強化し、デジタルデータ活用およびBtoCビジネスの重要性の高まりに対応 | <ul style="list-style-type: none"> ニコチン含有製品およびたばこ製品のオンライン販売が可能な市場におけるeコマースの強化 |
| 医薬事業 | 強みの維持・強化策 | <ul style="list-style-type: none"> 特定疾病領域への資源集中による研究開発機能の効率性強化 国内外研究開発拠点の連携による効率的かつスピーディな臨床開発の推進 化合物の導出 (ライセンスアウト)・導入 (ライセンスイン) 機会の積極的な追求 | | <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の承認書と製造実態の整合性を確認するためのガイドラインの策定や、製造委託工場における本ガイドラインに準拠した年次点検の継続的な実施 | <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」に則した社内基準の策定や、鳥居薬品のMR (医薬情報担当者) への研修を通じた本基準の遵守徹底 | |
| | 課題と対応 | <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの充実およびスピード向上 独自創薬技術の確立 | | <ul style="list-style-type: none"> 法令等に基づいたモニタリングを継続的に実施 | <ul style="list-style-type: none"> 上記取り組みの継続の実施 | |
| 加工食品事業 | 強みの維持・強化策 | <ul style="list-style-type: none"> 市場動向や競合動向の調査・分析に基づくお客様ニーズを取り入れた新製品の開発 外部との協業を通じた新たな技術、製法の開発推進 | <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーから提出される品質規格保証書に基づく原材料の安全性の確認 法令および当社基準に基づく主要原料の残留農薬のモニタリング検査や原料工場の定期的な監査 原料農場の土壌や水質の検査、栽培状況の確認、農薬の管理状態チェック、飼育場や養殖所の点検 | <ul style="list-style-type: none"> 国内外のすべての自社グループ工場および製造委託工場で、食品安全の国際規格ISO22000またはFSSC22000認証取得を義務付け 最終製品のモニタリング検査を通じた農薬等の基準超過有無の確認 フードディフェンスガイドラインの制定および遵守による異物混入リスクの低減 | <ul style="list-style-type: none"> 新たな付加価値を持った製品提案に向けたお客様視点での市場分析 製品ラインナップの拡充、効果的な販売促進施策を通じたブランドエクイティの向上 収益性の高い製品を優先したマーケティング・販売の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 量販店、コンビニエンスストア等への積極的なアプローチによる取扱品目の拡大や、優位な陳列場所の確保 ウェブサイトでの製品情報の開示や製品パッケージへの製造工場・主な原料産地・お客様窓口の記載によるお客様との「フードコミュニケーション」の強化 原材料調達、生産、加工、流通等の各過程における検査・監査結果の閲覧機能による安全性の可視化 |
| | 課題と対応 | <ul style="list-style-type: none"> お客様のニーズや嗜好に合わせた高付加価値商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> 環境負荷や持続可能性を考慮した新商品の開発 | <ul style="list-style-type: none"> 安全で高品質な原料調達を可能とするサプライチェーンの強化 <ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンとの透明性ある関係を構築し、人権や環境に配慮した調達を行うことにより、持続可能な調達体制を構築 | <ul style="list-style-type: none"> 安全で高品質な食品の製造管理 <ul style="list-style-type: none"> 品質および効率性を担保した最適生産体制の構築 環境負荷低減に向けた省エネ設備の導入 <ul style="list-style-type: none"> クリーンエネルギー化への取り組みを推進 | <ul style="list-style-type: none"> 多様化するお客様のニーズやトレンドに対応する製品提案・販売戦略の推進 <ul style="list-style-type: none"> お客様一人ひとりの嗜好やライフスタイルにあったパーソナライズ製品の提案 | <ul style="list-style-type: none"> 営業力の強化とお客様の安心につながる情報開示 <ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトや製品パッケージなどによりさらなる情報開示を推進 お客様への安定供給 <ul style="list-style-type: none"> 自社物流を最大活用した最適物流体制の構築 (ホワイト物流に向けた対策) |

* 喫煙可能な成人のお客様を意味します。なお、喫煙可能年齢は、各国の法令により異なります。日本では20歳未満の方による喫煙は、法律で禁じられています